

同友 やまがた

よい会社をつくろう／よい経営者になろう／よい経営環境をつくろう

8
2015
AUGUST

山形県中小企業家同友会
月刊 同友
やまがた

30
th



新庄最上支部設立総会

山形県全域に同友会の輪を広げ、
一丸となって地域の存続・発展につなげよう。

第18回女性経営者全国交流会報告
(6月18,19日開催)

中小企業家同友会全国協議会
第47回 定時総会開催 in岩手 (7/9~10)
人を生かし、企業を変え、持続可能な地域をつくろう！

山形同友会
創立30周年！
より地域に
必要な存在へ！！

2015年度スローガン

新庄最上支部設立総会

山形県全域に同友会の輪を広げ、 一丸となって地域の存続・発展につなげよう。



昨年から十五回の準備委員会と七回の準備会例会を経て、新庄市など一市四町三村の八万人の地域を対象とした「新庄最上支部」が、山形同友会六番目の支部として十七名の会員で設立しました。

新庄最上支部の立ち上げはこれまで二度断念していましたが、創立三十周年に向けて山形同友会における空白地域をなくし、山形県全域に同友会型経営を実践する企業の輪を広げる。また、今年度目標の会勢五百名に達成するべく、再々チャレンジとなりました。

六月二十四日、新庄市のザ・リヴィントンでの設立総会は、行政、金融機関、ゲスト、県内他支部会員が祝福にかけつけ、約五十名の参加者となりました。

第一部の設立総会では、来賓として山尾順紀新庄市長・土屋倫朗金山副町長・笠原栄最上副町長があいさつ。また、元木洋介鮭川村長や金融機関からのメッセージが紹介され、これからの支部活動と地域を支える中小企業への期待を伺えました。

総会議事では、支部運営規定・支部役員・「企業づくり・支部づくり・地域づくり」の三つの重点課題を含む、支部方針と年間計画が決定しました。初代支部長に就任した柴田事務所の柴田慶一代表は、「新庄最上の中小企業が元気になり、雇用が増え地域も元気になるように、

同友会の輪を広げるべく精一杯頑張ります」と力強く挨拶しました。

第二部は、山形同友会副代表理事でやまがたシティエフエム(株)の青柳等代表取締役が、「山形同友会創立30周年！より地域に必要な存在へ！！」と題して講演。DVD上映後、同友会の歴史や理念、山形同友会の取り組みやビジョン、そして自社の経営体験報告を交えて「なぜ地域に同友会が必要か？」を熱く語りました。青柳社長は「よい地域を作るには、よい会社を増やす必要がある。同友会で仲間を増やすことは、よい会社を増やすことになり、これがよい支部づくりにもつながる。まずは積極的に例会に参加していただきたい」と述べました。

第三部の懇親会では、新庄商工会議所や金融機関からの挨拶をいただき、会場内も大変盛り上がり、参加したゲスト二名からはその場での入会がありました。最後に、多大な尽力をいただいた地元金融機関支店長からのメッセージをいただき、産官金の協力の大切さを実感しながら盛会の内に閉会となりました。

念願だった新庄最上支部の設立は、山形県そして地域の発展に向けた力強い一歩となり、各会員の意気込みからは、必ず地域を支えていく支部に成長することを確信した設立総会となりました。



第18回女性経営者全国交流会報告(6月18,19日開催)

岡山で深く学びあった女性経営者全国交流会

(株)菓子工房ココイズミヤ 代表取締役 庄司 薫

今年も2日間に渡る深い学びを岡山で得ることが出来ました。

1日目の分科会は岩手の代表理事 吉田ひさ子さんの報告で、赤ちゃんからお年寄り、障害者も共に生き合う社会を目指した取り組みの内容でした。同友会での学びで地域を考えられるようになり、古民家を買取りデイサービスを始めのが8年前。今では老人ホーム、障害者や児童デイサービスまで事業を広げ54名を雇用しています。

自分が入りたい施設を作るのがコンセプト。家庭的な過ごし方とともに、人としての尊厳を大切にした介護をし、「認知症が回復した」「おむつが取れた」「寝たきりの方が自分で箸をもって食事をするようになった」事例があり、「中小企業こそ福祉をやる意味がある」と話していました。そこには、人間尊重の経営があり、女性ならではの視点と地域に根ざした生活があるからだと感銘を受けました。みんなが安心して認知症になれる地域を作っていきたいと笑顔でお話されたのが印象的で、弊社の地域における存在価値を改めて確認するとともに、地域の方々を向いた経営をしていきたいと強く思いました。

2日目は㈱モーハウスの光畑由佳さんの「ワークライフミックス」が切り開く新しい働き方の講演をお聞きしました。ワークとライフのバランスを取るのではなくミックス。いわゆる私達の母親達がやっていた子育てしながら仕



事をしていくスタイルです。

モーハウスは、子育て中の社員が赤ちゃんを会社に連れてきて授乳しながら仕事ができる会社です。幸せを感じる子育ての時期に、母として我慢を要され、つつい苦労自慢をしがちな時期を楽しみ楽しく仕事ができたら素晴らしいです。このような働き方は特別なことではなく、女性の職場だからできるわけでもありません。女性の管理職を増やす事も大切ですが、原点に戻った女性の働き方を推奨すべきだと思いました。

こういったソーシャルビジネスでの3つのポイントとして光畑さんは「女性の生活者感」「女性の柔軟な発想」「女性の無理のない範囲の事業展開」が大切と話されました。

女性ならではのしなやかさと柔軟性がそんな職場を作っていくのだと思いました。私も女性経営者の一人として、職場環境を整えるのはもちろん、若い女性社員の働く意識を健全にしていく役割も大切なことと思いました。

ワークライフミックス~仕事もプライベートも両方手に入れる~女性は欲張り! Hair with Water ディレクター 赤塚治美

鋤柄会長の問題提起から始まり、二日間の幕開けはガツンと衝撃をくらったような気持ちでした。氏の言葉は、本気で日本を良くしよう!という気概が、穏やかな話しぶりから溢れるもので、99.7%を占めるともいわれる中小企業が、本気で良くならなければ日本再生はありえない。誰がやる。私だ。という当事者意識。エネルギー問題も「地消地産」地域で消費するエネルギーは地域で産む、の意味を提案。小さな企業の小さな雇用が大きな社会をつくること。同友会は、平和を願う団体であり戦争を起こさない政党を選ぶ必要があること。社員教育で、平和の大切さを繰り返し伝えることの必要性。どの言葉も、ずしりと重く響きました。

分科会では、we are your factory(私たちはあなたの工場です)の合言葉のもと、小さな工場が世界で必要とされるエンジンバルブの製造をしている日本精機(株)(大阪同友会)の



報告、面白かった!ハイブリッドカーの台頭で一時は、生産も下がった製品が再び遠い国で必要とされるストーリー。わくわくしました。「貿易はキャッシュなので有益」とのこと。

他の分科会の報告でも、「もうお惣菜残業は嫌だ」にグサリ。忙しく残業しても、その残業代は、家族の夕飯のお惣菜に消えると…。何のために働くか。働き方の改革。利益の出し方。真摯に追及しなければと思いました。

そして記念講演の光畑由佳氏。ウェアラブルな授乳服の開発で一躍有名になった氏の話に、心を奪われました。新商品の開発の経緯が、非常に興味深くニーズを創造することの面白さを知りました。話はそこでとどまらず、商品が顧客の人生を変えること、会社の変革が社員の人生を変えることを知り、商売ってなんて面白いと。氏が提唱する「ワークライフミックス」は、今後も社会に浸透し続けることを願います。「仕事もプライベートも、両方手に入れていい!女性経営者が強いのは、結婚・出産を機に(またはそれらを手に入れなかったことを機に)人生のリセットを何回か経験しているから。男性社長は、インドに修行に行きたくなるけど、女性は、社会と子育てと私生活で修業をクリアしているのよ」ウィットにとんだお話に、笑いながらも深く腑に落ちた岡山でした。

女性会員の皆様、全国行事は深く変革できるいい修行ですよ。

第47回 定時総会開催

人を生かし、企業を変え、持続可能な地域をつくろう!

7月9、10日、中同協第47回定時総会が盛岡市に於いて開かれ、全国から1017名が参加しました。山形からは17名が参加し、全国の仲間と学び合い、交流を深めてきました。

また、懇親会では11月19、20日に山形で行われる第27回社員教育活動全国研修交流会のPRを行って来ました。

参加された皆さまの感想をご紹介します。



初めて参加した全国集会

(有)長門屋 代表取締役 笹林陽子



北海道から沖縄まで各地域から多くの中小企業家達が盛岡の地に集まった姿を見て、まず人の多さに圧倒されました。全国規模の大きさは桁違いで、力強さを感じました。

第3分科会は“「人を生かす経営」の実践が企業と地域の未来を開く”と題して、(株)ヒューマンライフの中山英敬氏(福岡同友会)と、エイベックス(株)の加藤明彦氏(愛知同友会)のお話を伺った後、グループ討論を行いました。

中山氏は、本業の崩壊の危機から社員の自主性による全社一丸体制の確立までの中で、個人面談を大切にされてきたそうです。ひとり一人の話を「聴くこと」に徹したことで、初めは社員さんから多くの不平不満が出てきました。それをできることは何らかの行動で示し、できないことにはその理由を伝えるようにしてきたことが、「何かあれば

会社は動いてくれる」という信頼につながり、今ではほかの人には言えない個人の悩みも話してくれるようになったそうです。中山氏は社員それぞれが、いろいろな悩みを抱えていることを知り、今では「聴いてくれてありがとう」と言われる関係になっていると、話しました。社員の話を聴くことで初めてコミュニケーションが取れ、「だったら一緒に考えよう。」という関係ができる。それが社員の深く考える環境を作り、今では社員による社内研修会や勉強会が広がっているということで、信頼の土壌づくりの大切さを学びました。

加藤氏は、「今ある仕事は必ずなくなる」「今いる社員は必ずいなくなる」という観点から、経営指針に基づくベクトル合わせを行い、働きやすい労働環境の構築を計画的に実施し、多能化を進める重要性をお話し下さいました。やらされ感でなく、なぜやるかがわかり自ら動ける会社=会社の総合力であり、最大の競争力となる。人は育てるものでなく育つもの。教育とは育つ状態を作ることだ、とおっしゃいました。

成熟した企業づくりを果たしているように思えるお二人ですが、お話を伺ったことで、それが日々のコツコツとした実践の歩みの成果であることを知りました。

人間尊重の経営に取り組んでいきたい

(株)東北テレネット 代表取締役 長瀬洋一

第3分科会にて「人を生かす経営」労使見解の実践報告に参加させて頂きました。

「人を生かす経営」とは労使見解をもとにした人間尊重の経営であり、その深さに再度気付かされ、経営者の責任

の重さ、実践の大切さ、そしてむずかしさ、でもやらなければならない覚悟を頂いてきました。

今まで取り組んできたことが、全部中途半端になっているのではないかと、自問自答と不安が多く浮かび「中小企

業における労使関係の見解」の考えをもとに、企業変革支援プログラムを活用し、ひとつひとつ検証しながら、今後の自社の経営、企業づくりにつなげます。

「人を生かす経営」とは、「労使見解をもとにした人間尊重の経営」それに近づける為には、経営指針書の作成と実践です。

愛知同友会加藤代表理事からの報告の中で『本当の社員教育をしているか?』という問いかけ、「人間らしく生きる」(生存条件)として、「人は育てるのではなく、育つもの」という言葉がありました。やらされ感があれば誰も、行動に移しません。経営指針書を実践するには一人ひとりが自主性を持って組織経営が出来る環境づくりが、私の仕事の一つです。即、取り組まなくてはなりません。

グループ討論のテーマの1つに『あなたの経営指針には、労働環境改善や人事方針が成文化されていますか?』とありました。企業は、人と人で成り立っているにも関わらず、成文化とは言えない内容に反省をしています。又、労働環

境改善と人事方針に関して、もっともっと、社員の声に耳を傾け、反映出来るよう話し合いを重ねて行かなければなりません。納得とやらされ感のない、労使及び社員同士が認めあう人間尊重の経営に取り組んでいきます。

『人を生かす経営 中小企業における労使関係の見解』の考えをもととした実践が企業づくり、地域づくり、同友会づくりにつながっていくことを実感させられた、二日間でした。



盛岡へ“いい旅”～圧巻の全国総会～

(株)シオン 代表取締役 大山和宏

今回の盛岡出張、旅日記を書かせていただきます。まず、山形E旅様のプレミアムバス、これがすごいです！フットレスト付のデラックスシートで、片道4時間の長旅でも全然疲れません！ぐっすり寝て、起きたら到着です。盛岡に着いたらお昼ご飯は冷麺！満腹になったところで総会へ。大きな会場に満員！人々！1000人以上の迫力はすごいです。

その後、別会場に移動して分科会です。現在指針をつくる会受講中の私は指針がテーマの第5分科会へ。宮城同友会の指針委員長をされている、東洋産業社長の玄地様より報告。M&Aで経営者として入った会社で、指針書を作って社員の心を一つにした実践、成功のストーリー。現在指針作成中の私は気づきの連続でした。

また、グループ討論では、他県の支部長さんや、委員長さんなど幹部クラスの方から、先月入会したばかりという方まで、バラエティがあり、いろんな意見が飛び交って、学びの多いグループ討論でした。

その後、大懇親パーティーに参加。そこも人人！文字通り熱気に包まれた懇親会でした。岩手の3大麺のブース出店など、お料理も充実しておりました。

2日目は議案採択が滞りなく進み、最後は、被災地岩手での中島みゆきの「時代」の大合唱！感動のフィナーレで2日間の盛岡滞在が終了しました。

学びの多い二日間でした。参加させていただきありがとうございました！



第8分科会に参加して

田宮印刷(株) 常務取締役 阿部和人

7月9日～10日と第47回定時総会 I N岩手に参加した。参加理由は第8分科会の事業承継に係る報告と社全交 I N山形の広報であった。

第8分科会は埼玉同友会の柴田社長が「後継者として社

員と心を合わせ、自社の魅力でどのように未来を掴むか」というタイトルで報告された。

父親が社長の会社に大学生生活で失敗した柴田社長が入社。そこは赤字経営、粉飾決算、債務超過と企業としては瀬

死の重体であった。柴田社長は決算を正しく行い、資金繰りに奔走し債務超過を脱する。そこには「事業承継」の腹をくくった不退転の想いが強く感じられた。

しかし、赤字経営から脱したとたんに若手社員4名が次々と退社。人を生かす経営の難しさを感じたとおっしゃっていた。そしてそれを機に一時休んでいた同友会に復帰される。

その後指針を受講し新たな一步を踏み出された。柴田社長は「人を生かす経営の難しさ」「何の為に社員と心を合わせるのか」について常に葛藤されているとおっしゃっていました。

柴田社長の報告をうけて「理想の事業承継とは何か」「何を継承し、何を改革しますか」のテーマでグループ討論を行った。報告にもあったがグループ討論でも「指針」についての意見が多かった。「経営者の責任」の自覚には「指針」が重要であり不可欠であるとグループ内で共通認識となった。

また、この急激に変化する時代において事業承継における理念の継承は本当にそれで良いのか(理念さえも変えていかなければならないのではないか)という討論になった。

この場面では「急激な市場の変化、顧客ニーズの変化にはもちろん対応していかなければ生き残ることができない、しかしそれはサービスの領域でありサービスを提供するマインド(理念)は普遍である」という共通認識となった。

事業承継には様々な形があるが世襲であれ世襲でなかれ、「承継者」「承継の日」をはっきりさせる事が重要であり、承継者と共に承継を推進する事。そして何より承継者の「経営者の責任」についてしっかりと自覚をする事が大切だとまとめました。

私にとって有益な分科会となりました。



同友会は経営者の生きざまを学ぶ会

(株)ベーカリー中村屋 代表取締役 志田清志



第9分科会に参加して、震災から4年4カ月たった今も完全復旧にならず、いまだに仮住まいの方々が多い福島県の松原社長の報告を聞きました。

震災以前から先代にずっと言われ続けてきたこと。それは「起こったことはしょうがない、とにかく前を向いて進め！」です。この言葉に後押しされたかのように、淡々と語る松原社長の姿が印象的でした。

社員を解雇せずに、しばらく雇用し続け、社員から一緒にこの場所で出来ることは何か？一緒に行動したい旨を云われ、地方にバラバラだった社員たちが、同じ方向を向き行動する様子がうかがえました。

ここでしかできない取り組みとは何なのか？日本の将来の縮図(退避から解除での入居者は老人が大半であること、買い物もできない、作物も育てないところ、空き家

問題など)がある。浪江町や双葉町、南相馬市など。松原社長は、誰かがやるではなく、自分が先頭に立って行動し、パイオニア的な存在になることで日本の先端モデル、ビジネスモデルになろうとしている姿が印象的でした。

この分科会では、実際に自分の会社が被災して何もなくなったらどうするか？経営環境の激変に対応できるかなどを、グループで討論できた事は、今後の会社運営で役に立つと考えます。

また、最近言われているBCPの話題を東京同友会のグループ長が取り上げてくれて、その意味合いを知ることが出来たことも意義のあるものでした。社員とBCPに関しても共通の議題として取り上げて、話し合っ共有しておくことも非常に大事なことだと感じました。

2日目の全体会での広浜幹事長のことば「自分の会社の恥部はなにか？」を討論せよ！これは現状の認識をはっきりつかむところから始めないと「よい会社」にはなれない！上っ面の討論ではなく、仲間が真剣になって考え、助言をくれる。これが中小企業家同友会の良いところであると云われたことが心に残りました。

同友会は「経営者の生きざま」を学ぶ会であることや、労働環境を毎年見直しすることや障害者雇用の推進など。様々な課題がある中で、一つ一つ地道に取り組んでいこうと考えています。

8月例会のご案内

・どの支部の例会にも参加できます。・月に一度は参加しましょう。

山形支部

50年先を見据えた組織づくり ～今、経営のたすきを受け取って走り出す～

2015.8.18(火)18:30～

場所：山形ビッグウィング 4F 研修室
山形市平久保100 ☎023-635-3100

報告者：城北電気工事(株) 専務取締役 伊藤 誠氏

「将来は父親の後を継ぐんだらう」と漠然と思いながら入社。ある時から、このまま現場の仕事をしていいのか？経営者とは何か？を考え始めた伊藤氏は誘われるまま同友会に入会し、会社の方向性を明確にしようとして経営指針を作成します。社内会議、委員会活動とおして、社員と向き合う中で社内は少しずつ変化してきました。

そして今年、県総会で事業承継について学び合います。講演で提起されたとおりに社員ひとり一人の年齢を入れて50年の年表を作成すると先が見えてきました。

今、経営のたすきを受け取ろうとする伊藤専務が、後継者として経営者になるために学び、実践してきた経営体験を報告します。お問い合わせの上、ご参加ください。

置賜支部

社員と現状認識を共有することから始めよう ～人材育成を組織運営で考える～

2015.8.20(木)18:30～

場所：伝国の杜
米沢市丸の内1-2-1 ☎0238-26-8000

報告者：田宮印刷(株) 常務取締役営業部門統轄 阿部和人氏
(山形同友会社員共育委員長)

「売上や利益目標を設定し、会議で進捗をチェックはしているが目標が達成できない」「個人目標の共有をしているものの社員が成長しない」「社員個人の力量頼みで組織としての力が発揮できていない」という声があります。置賜支部8月例会では阿部社員共育委員長が、自社でどのように考え、仕組みをつくってきたのかという実践報告をもとに、お客様をつくるための現状認識の一致、P D C Aサイクルの構築、組織づくりの中でどう人材育成をしていくのかを考え合います。

お問い合わせの上、ご参加ください。

さくらんぼ支部

利益をただき出す経営のポイント ～利益に直結させる思考と行動とは～

2015.8.25(火)18:30～21:00

場所：タントクルセンター 2F 栄養指導室
東根市中央1-5-1 ☎0237-43-1155

講師：(有)奥山経営センター 代表取締役 奥山 享氏(税理士)

「いそがいけれども、儲からない」という声をよく聞きますが、中長期的なビジョンが描けますか。

自社の戦略が社会のニーズにあっていますか。貴方の会社は、3年後はどうなっているのでしょうか？

さくらんぼ支部8月例会は、奥山享税理士を講師に迎え、「利益」に焦点をあて、強い会社にするための、経営のポイントをお話いただき、利益に直結させる思考と行動を学び合います。

お知り合いの経営者の方をお誘い合わせの上、ご参加ください。

寒河江支部

僕は、いかにして社員と夢を共有する事ができたか ～理念は、会社の羅針盤～

2015.8.27(木) 19:00～21:05

場所：寒河江市技術交流プラザ
寒河江市中央工業団地153-1 ☎0237-86-1991

報告者：(株)アイディア 代表取締役 北風秀明氏

同友会入会后、第13期経営指針作成セミナーを受講。経営理念作成の過程では自社の社会的軸足をどこに置くかを悩みます。「生まれ育った庄内地域が大好きだから、この地域の人たちと共に幸せを創りたい」という強い想いはあっても、それを成文化することの難しさを痛感します。そして、完成した経営指針書をもとに週に1回の社内ミーティングで社員との理念の共有化をはかり全社一丸体制を整えはじめます。

そんな時、飲食業をする話が舞い込んできました。断るべきかどうかを考えた末、北風氏はGOサインを出します。その裏には、理念を共有している社員だからこそ「一緒に庄内を元気づけたい」と考えてくれるのではとの思いもありました。理念があるからこそ全社一丸となって新たな商売を始める事ができたという北風社長の実践報告に学び合います。

庄内支部

同友会って、どうゆう会？ ビアパーティーに全員集合！

2015.8.28(金)18:30～21:00

場所：魚亭 岡ざき 鶴岡市美咲町2-46 ☎0235-25-0086
参加費：4,000円

夏と言えばビアパーティー!!ということで、今年も恒例のビアパーティーを開催致します。

今回のビアパーティーでは、最初に新会員オリエンテーション用のDVDを上映します。同友会の歴史や理念、山形同友会の取り組みを鑑賞していただき、ベテランの会員は基本に立ち返り、新会員は同友会で何を学ぶか、どう活かすかなどを見出していただければと思います。その後はビアパーティーということで、庄内支部会員でもある「魚亭 岡ざき」の新鮮な魚介に舌鼓を打ちながら、通常の例会では聞けない・話せないことなどを、ざっくばらんに語り合います。今回は、ゲストの方も入りやすい内容となっております。お知り合いの経営者をお誘いあわせの上是非ご参加ください。

※当日キャンセルは、キャンセル料が発生いたしますのでご注意ください。

新庄最上支部

新庄最上のいいところ語ろう ビアパーティー！

2015.9.3(木)18:30～21:00

場所：蕎麦ワークス 葱房厨
新庄市大手町2-28 ☎0233-23-3120

参加費：後日連絡いたします。

6月に支部が立ち上がり、暑い夏、そして熱い新庄祭りも終え一息。ビアパーティーでクールダウンしましょう。新庄最上支部ビアパーティーでは、通常例会では聞けないこと・話せないことなどをざっくばらんに語り合い、会員同士のつながりを深めます。また、自社企業だけではなく、地域をどうやって発展していくかなどの夢のあるビジョンも語り合います。尚、お知り合いの経営者をお誘いあわせの上是非ご参加ください。

第4回理事会報告

◆日時: 7月8日(水)午後2時~午後4時 ◆会場: 産業創造支援センター 1F マルチメディアホール ◆議長: 青柳副代表理事
 ◆出席: (敬称略) 青柳等、阿部和人、阿部秀頭、安藤昌則、大場賢二、金田史生、菊池幸生、小林敏郎、後藤智樹、西塔秀幸、齋藤志直、佐藤一夫、庄司薫、高橋明、長澤武、(事務局)伊藤、矢作、高橋(理事16名出席)

■開会挨拶(西塔代表理事)

■報告事項

- 1) さらやか経営者セミナー(6/25)(西塔代表理事)
- 2) 山形テレビ「提言の広場」の出演の件(伊藤事務局長)
・7/11(土)15:25~15:55 放送・菅原茂秋氏出演
- 3) 新庄最上支部設立総会(6/24)の御礼と報告(齋藤専務理事)
- 4) 憲章・条例学習会(8/5)参加要請依頼(大場理事)

■入・退会承認 6名入会、2名退会 7/8現在437名

■討議事項

議題1: 会員増強の取り組みについて

- 1) 安藤理事より、前回理事会以降の取り組みの報告があった。入会対象者リスト数が約90名で、目標の300名に達成していないことをあげ、7/22までに、理事から7~8名の紹介者をあげることを決定した。また、入会率を上げる為、紹介をいただいた方に、毎月のクロージング状況を報告することを決定した。

【内容】

- ①各紹介者に、月末にゲストリストをメールで送る。
 - ②紹介者は、リストのクロージング欄に進捗を記入のうえ、事務局にメール(FAX)で返信する。
 - ③組織委員会でリストのチェックをし、必要な方へのフォローをする。
 - ④寒河江支部・置賜支部は、独自の取り組みをしているのでフォローの対象外となる。
- 2) 7月増強月間の取り組みについて、下記の点を確認した。
 - ①各支部で、例会ワンゲスト運動、対象者を訪問し入会を勧める。
 - ②各支部の会員増強の活動を「増強ニュース」で共有する。(Fax, e, doyuで)
 - ③増強ツールを活用する。冊子「同友会で自分が、会社が変わりました!」の原稿を全理事にお願いする。締切:7/22(水)
 - ④同友会説明用新DVD作成の提案があり、組織委員会で再検討する。(継続審議)

3) 各支部月別目標数の確認

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	目標
山形	208	2	3	4	4	3	3		230
寒河江	56	1	1	1	2	2	2	1	65
さくらんぼ	51	3	1	1	3	1	3	1	65
置賜	50	2	2	2	2		2		60
庄内	51	2	2	1	2	3	2	1	65
新庄最上	17								30
	433	7	8	8	10	3			

議題2: 支部所属の見直しについて

西塔代表理事より、支部所属の現状と見直しの提案があり、第1次案として承認された。

下記の内容を各支部幹事会で議論をし、その結果を理事会で審議する。なお、現会員は現行のままとなり、新しく入会する方が対象となる。

今後の手続きは、各支部で議論、理事会で審議し、2016年5月支部総会で改正(案)を決定する。

議題3: 2015年度役員研修について

開催要項とタイムスケジュール、参加依頼があった。

- 日時: 7月28日(火)13:30~17:00
- 会場: 山形県産業創造支援センター
- 講師: 中同協 幹事長 広浜泰久氏
- テーマ: 同友会で何を学び、どう実践をしていくか
~企業づくり・地域づくり・同友会づくりを一体として~

議題4: マイナンバー制度学習会の件

開催日程と当日の役割分担・タイムスケジュールを確認した。

- 日時: 7月13日(月)18:30~21:00
- 会場: 山形テルサ 2F リハーサル室

議題5: 30周年記念式典(第1次案)の件

後藤副代表理事より、30周年記念式典の開催要項、補正予算案の提案があり承認された。

- 1) 30周年記念事業予算の補正について
30周年記念事業予算額400,000円計上しているが、500,000円の予算が必要。

議題6: 事務局夏季賞与について

西塔代表理事より提案があり承認された。

■経営体験報告

報告者: 大場印刷(株) 常務取締役 大場賢二氏
座長: 阿部和人氏

*次回報告者(敬称略) 高橋明氏

■その他

- 1) 中同協総会(岩手 7/9~10)の参加について
目標: 20名 現在: 18名参加
・第27回社員教育活動全国研修・交流会の宣伝について
- 2) 第4回理事会日程
 - 日時: 8月12日(水)14:00~16:00
 - 会場: ビッグウイング 402 会議室

■閉会挨拶(後藤副代表理事)

新会員紹介

◎熊谷 太郎氏

正酒屋 六根浄 代表
業種 酒類販売業
山形支部

◎片平 義治氏

片平商店 なないち城西 代表
業種 食品小売業
山形支部

◎井上 勝寛氏

(株)スズデン
業種 電気設備工事
置賜支部

◎我彦 真由美氏

SOBAカフェ 心那や 代表
業種 飲食店
置賜支部

◎樋渡 守氏

(株)セロン東北 新庄営業所 所長
業種 警備業
新庄最上支部

◎小野 善弘氏

(株)新庄印刷 常務取締役
業種 印刷業
新庄最上支部

支部・会員名・企業名・役職変更

- 仙台ターミナルビル(株)ホテルメトロポリタン山形(山形支部) 取締役総支配人 橋本 傳三氏⇒新沼 悟氏 に変更
- (株)住吉屋食品(寒河江支部) 企画開発部長 住吉 克久氏⇒代表取締役社長 に変更
- (株)山形チャレンジ工業(新庄最上支部) 代表取締役 田中 栄造氏⇒代表取締役専務 佐藤 宏氏 に変更

同友やまがた8月号(2015年8月1日発行/通巻269号)

From Editor

★今年も例年になく酷暑、猛暑の日が続きます。千年に一度といわれた東日本大震災が起きた2011年の6月に山形大学との連携事業の一環として宮城県南三陸に、7月には岩手県の陸前高田の被災した会員企業を訪問させていただきました。生きるか死ぬか、全く先行きが見えない大変な時期にもかかわらず、受け入れてもらうことができました。★4年前「この時期に学生の成長のために被災地での授業が許されるのか」と未だに心は揺れ続けていると福島教授は自問自答していました。「どんな困難な中でも踏ん張り続け、雇用を守り、地域を守る中小企業家の姿勢は一生忘れられない姿として焼きついた」と確信し、奇跡の学びと交わりました。学生たちは、大学で何を学ぶのか、自分は何ができるか、ど

んな生き方をするのか考える機会となりました。★そして、陸前高田の田村社長から、この地域がどう変わっていくのか毎年見に来て欲しいと課題がだされ、この7月に6回目の訪問をさせていただきました(2011年に2回訪問)。昨年と同様、田村社長、八木澤商店の河野社長が当時のことを語り、人が集い会話することで人間性回復のために気仙朝市が出来たことを紹介しました。★新たな取り組みとして農業や食品加工を学ぶ学校を創る取り組みは、困難や課題が多い分だけ、1歩も2歩も先を行っていることに驚きました。お二人に震災時の4年前と同じ緊張感があることを感じながら、初めはひとりでも2人、3人と広がり、社会を動かす力になっていることに大いなる刺激を受けてきました。(由)